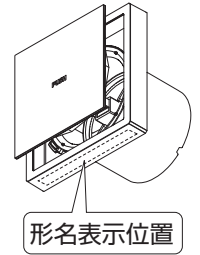


室内給気部材 プッシュ式 レジスター（フィルター付）

形名
標準型 SRC-100F
SRC-150F

形名
防音型 SRCB-100F
SRCB-150F



取扱説明書(取付説明書付)

この製品は24時間換気方式の排気による圧力差を利用する自然給気口として住宅居住室内の天井・壁に取付けて使用するものです。それ以外の用途・場所には使用（取付け）しないでください。

- 取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付けは販売店・工事店さまが実施してください。



取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

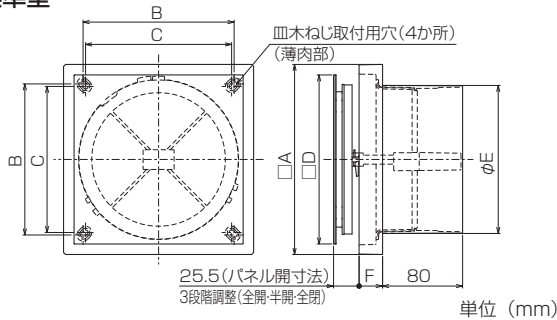
 指示に従い必ず行う	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	<ul style="list-style-type: none"> ●取付けは確実に（落下によりけがをする原因） ●取付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因） 	

取付け前のお願い

- 屋外環境に適したフードを選定してください。
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと取付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙があたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。
また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとパネル表面から結露水が滴下することがあります。
（屋外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃、室内湿度が50%RH以上）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に取付けてください。
- メンテナンスができる場所に取付けてください。
- 150タイプは硬質ポリ塩化ビニル管（VP管）には取付けできません。
- 接続するパイプは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 本体枠が変形し、パネルユニットの回転・着脱不具合の原因となるため、取付けるパイプに著しい変形（ツブレなど）がある場合や突起（ねじなど）がある場合は製品を取付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して取付けてください。
- 有機溶剤入のシーリング材などは樹脂を溶かすので使用しないでください。

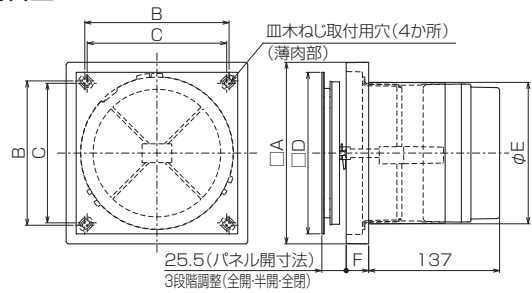
外形寸法図

■標準型



形名	A	B	C	D	E	F
SRC-100F, SRCB-100F	140	107	102	119	98	22
SRC-150F, SRCB-150F	190	151	146	169	148	23.5

■防音型



■付属部品

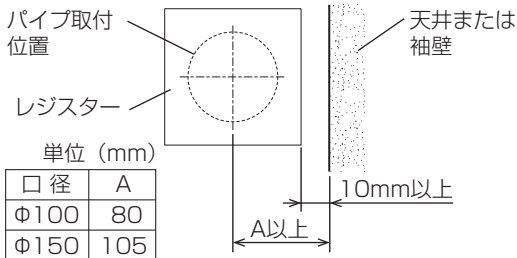
- 気密パッキン(厚さ3mm)… 1本
- 気密パッキン(厚さ5mm)… 1本

■適用パイプ

- 硬質ポリ塩化ビニル管(SU-100特)
- 硬質ポリ塩化ビニル管(LP-150特)
- ※150タイプは硬質ポリ塩化ビニル管(VP)には取付できません。

取付方法

1. 取付け前の準備



1. 取付場所を決める。

- お手入れの際、パネルユニットの脱着が必要になるため、左図を参照してください。

2. 製品に合った適用パイプを壁に埋込む。

- 屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてパイプを埋め込んでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合、石こうボード用アンカー(市販品)を使用して取付けてください。取付用穴位置は、上記外形寸法図を参考にし、石こうボード用アンカーに合わせてねじ固定してください。
- 製品取付面にシーリング材などがはみ出す場合、2mm以下としてください。

■取付方法は下記に従って選定してください。

取付方法	取付場所		
	天井	壁	
		取付高さ1.8m以上	取付高さ1.8m未満
ねじ固定	○	○	○
シーリング固定	×	×	○

○: 推奨
×: 不可

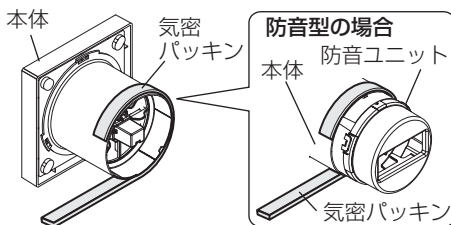
2. 本体の取付け

お願い

- 本体とパネルユニットに砂などが付着するとパネルユニットの着脱やパネル開閉操作不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。
- 防音型は、本体と防音ユニットを固定している仮固定テープをはがしてから気密パッキンを巻き付けてください。※仮固定テープをはがすと本体から防音ユニットがはずれます。取付時に本体・防音ユニットが落下しないように注意してください。

市販の皿木ねじで取付ける場合

1. 気密を確保できない場合、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。

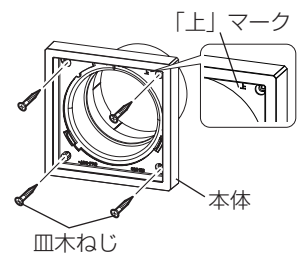


2. パネル中央部を押して全開にする。パネルを左に回転させてから手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。



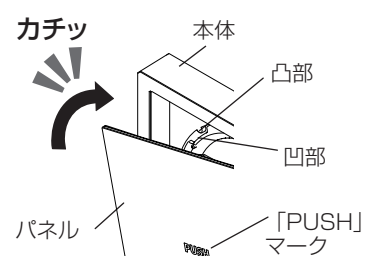
3. 取付用長穴を用いて市販の皿木ねじ(4本)で固定する。

- 本体の「上」マークを上側にして取付けてください。
- 皿木ねじはφ4.1以下で長さ30mm以上を使用してください。
- 固定の際、本体が変形しないように取付けてください。すき間やパネルユニットの回転・着脱不良の原因となることがあります。



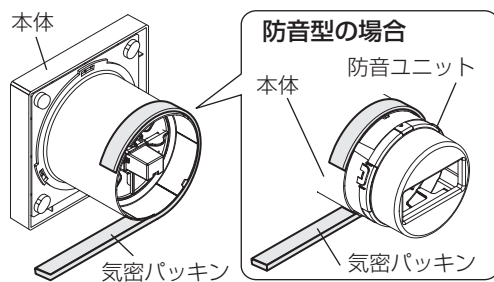
4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、必ず「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。



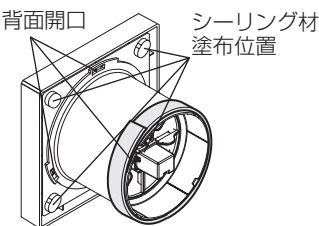
シーリング材で取付ける場合

1. 気密を確保できない場合、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。



2. 下図の4か所または筒部に適量のシーリング材を塗布する。

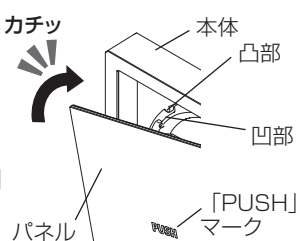
●背面開口（3か所）にシーリング材を付着させないでください。パネルユニットが回転できなくなります。



3. 製品の上下を確認し、設置したパイプへ水平に差し込み確実に固定する。

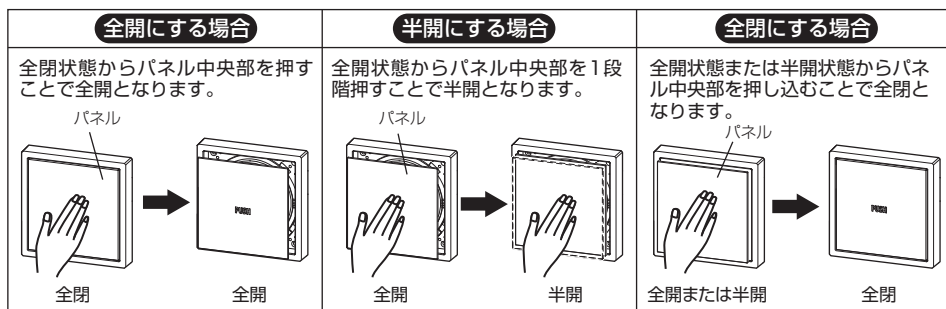
●設置したパイプ内のほこり、水分をきれいにふき取ってください。
●取付面と本体の間にすき間ができないように取付けてください。
●壁との間にすき間ができた場合は市販のねじで固定してください。

4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、必ず「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。
●パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして据付けてください。



使用方法

※この製品はパネルを押すことで、3段階（全開・半開・全閉）の開口面積の調節が可能です。強風・豪雨時または冷気の侵入を感じる場合など、状況に応じて調節してください。



お願い

- 通常は全開状態で使用しますが、台風など外風が強い場合や水滴が入るおそれのある場合はパネルを「全閉」にしてください。その後は必ず「全開」にすることを忘れないでください。
- 使用環境条件により結露が発生することがあります。結露が発生した場合、水滴はふき取ってください。

お手入れ

製品はほこりや砂が付着しますと風量低下やパネル開閉操作不具合などの原因になりますので、2か月に1度を目安に清掃してください。

風向調整板付製品のお手入れは、風向調整板の取扱説明書をご覧ください。

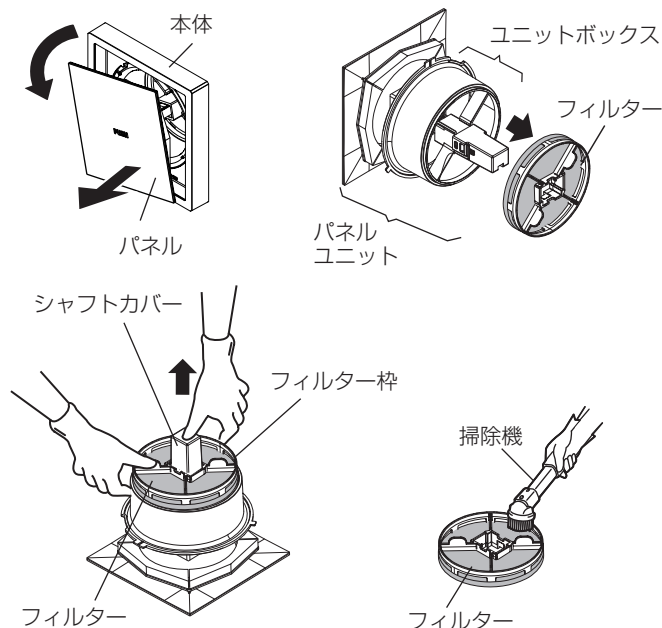
注意



指示に従い必ず行う

●お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

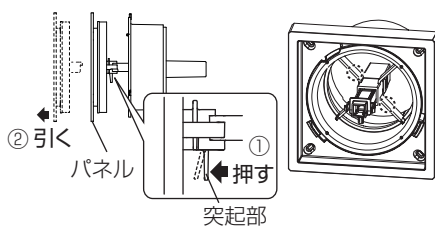
■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の脱着を行わないでください。



1. パネル中央部を押して全開にする。

パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

袖壁が近い、またはパネルの回転がスムーズでない場合



- パネル裏側の突起部を左図のように押しながらパネルを引き抜く。
- ユニットボックスの軸部根元(左図の○部)に指をかけて左に回転させてから手前に引き抜き、本体からユニットボックスを取り出す。
- 取りはずしたパネルは、ユニットボックスの取付けがすべて完了した後、元通り取付けてください。

2. フィルターを取りはずす。

- 図のようにフィルター枠の左右を持ち、親指でシャフトカバーを抑えながらフィルターをはずすとスムーズに取りはずすことができます。
- パネルにキズが付かないように柔らかい布などを敷いて行ってください。

3. フィルターの清掃

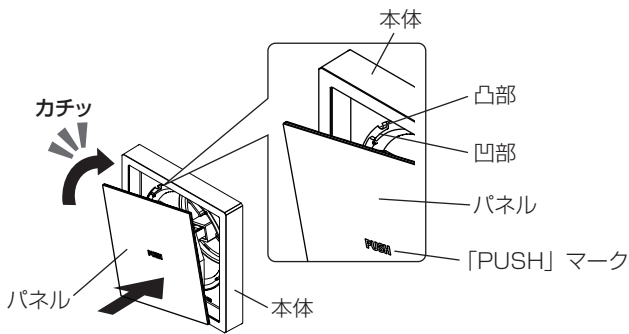
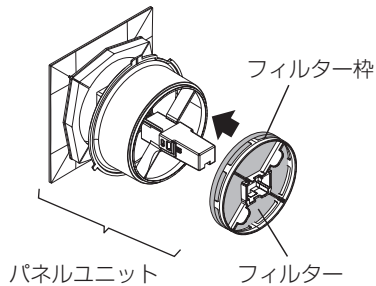
- 軽く手でたたくまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に台所用中性洗剤を溶かしてすすぎ洗いをし、よく乾かします。

お願い

- フィルターは、フィルター枠に入った状態で清掃してください。
- すすぎ洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- フィルターは、水洗い5、6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。

交換用フィルター	適用形名
FR-C100	SRC-100F, SRCB-100F
FR-C150	SRC-150F, SRCB-150F

お手入れ つづき



4.製品の汚れは薄めた台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

お願い

- 製品に砂などが付着するとパネルユニットの着脱やパネル開閉操作不具合の原因になりますので、本体とパネルユニット(風向調整板)を清掃してください。

5.取りはずしたフィルターを元通り取付ける。

お願い

- フィルターはフィルター枠にはまり込んだり、折れ曲がらないように確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やほこり侵入のおそれがあります。

6.パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

お願い

- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

7.パネル中央部を押してパネルを全閉にする。

- パネルを全閉にすることでパネルがシャフトに固定されます。

8.パネル中央部を押してパネルを全開にする。

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。(洗剤は原液のまま使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。
(シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など)
- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- パネルに貼付けてあるクッションをはがさないでください。
- パネルユニットの動作機構部は分解しないでください。
- 交換用フィルターはお買上げ販売店または下記にお問合せください。



SHINYEI 神栄ホームクリエイト株式会社

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2丁目3番34号

TEL: 06-6789-2321 FAX: 06-6789-2391

ホームページアドレス: <https://www.shinyei-shc.co.jp>